

## 一 般 質 問

平成28年3月14日（月）

6 番 長 原 徳 治 議 員

### 1. まち・ひと・しごと創生総合戦略について

- ①計画の基本的位置づけと第5期総合計画との関連性について。
- ②人口維持対策は具体的にはどう取り組むのか(合計特殊出生率等)また、地方分権との関係は。
- ③雪克服対策やリフォーム助成制度について追加は考えられないか。

### 2. 公共下水道事業会計について

- ①会計の現状と今後の見通しは。
- ②中期経営計画等の算定が必要でないか。

### 3. 教育大綱について

- ①この大綱にこめた市長の市民へのメッセージ、思いは何か。
- ②文化振興の位置づけをより明確にすべきでないか。
- ③子どもたちが集う公園整備について。

### 4. 介護保険について

- ①平成30年以降も見通した地域力向上や介護対策はどう取り組むのか。
- ②在宅医療・介護連携及び包括的ケアシステムの取り組みは。

### 5. 健康づくり計画について

- ①新計画の基本的考え方は。
- ②計画推進の実効性をどう進めていくのか、高齢者クラブの健康づくりも支援すべきでないか。
- ③各種データのこれまでとの差異について。
- ④がん対策推進条例に取り組む考えはないか。

### 6. 教育行政について

- ①大学生への奨学金制度を再度制度化できないか。
- ②一部小学校の荒れについてどう対応しているのか伺う。

---

7 番 神 代 知 花 子 議 員

### 1. 石狩子ども総合支援について

- ①子ども総合支援本部の組織体制、連携機能について。
- ②子どもの貧困大綱には「学校を子どもの貧困対策のプラットフォームにする」とあるが、本市の子ども総合支援における「学校教育」はどのような貧困対策を担うのか。また、新規事業「学習支援モデル事業」とはどんな効果を期待するものか。

- ③「協育エキスパートチーム」の導入によって、総合支援本部の中でどのように機能し、どのような問題が解決されることを目指すのか。また既存の家庭訪問を行う専門職と何が異なるのか。
- ④新規事業「拠点型学習支援事業」は福祉部局、教育部局、それぞれとどのような連携をするのか。受け入れ規模はどの程度を想定しているのか。

## 2. ひとり親支援について

- ①石狩市におけるひとり親家庭の現状について。
- ②石狩市独自の寡婦控除のみなし適用の考えについて。
- ③ひとり親家庭生活サポート事業の利用実態について。
- ④高等職業訓練促進給付金について。
- ⑤高等学校卒業程度認定試験について。

## 3. 石狩市健康づくり計画(第二次)について

- ①「歯の再石灰化を促すフッ化物」とあるが、その科学的根拠は。人体に悪影響のあるフッ化物は成長期の子どものみならず推進すべきではない。フッ化物配合歯磨剤の応用推進は削除すべきではないか。

## 4. マイナンバーの自治体事務状況について

- ①マイナンバーの自治体事務状況と、サーバートラブルについて。また、今後の利用拡大の意向について。

---

10番 木村 上 求 議員

## 1. 子育て支援について

- ①低所得者について、就学援助により、制服など新入学に必要な学用品費への支援が行われているが、支給時期について伺います。

## 2. 消防団と石狩市防災マスターの役割分担について

- ①地域の各防災組織と消防団との連携について。
- ②石狩湾新港エリアにおける大災害時の対応について。

## 3. 福祉利用割引券の交換について（業者側からの）

- ①福祉利用割引券の業者側の交換に伴う手続きについて伺います。
- ②全業種ではないと思いますが、介護タクシーで福祉利用割引券を利用された場合、石狩市の業者は札幌のタクシー協会で手続きをとり、その際に高率と言える手数料を支払っていると伺っていますが、市内の業者に出来ないのか、また手数料を下げることは出来ないのか伺います。

## 4. ふるさと納税について

- ①ふるさと納税金額（本市収入額）と、他市に渡ってしまった納税金額（他市に支出額）を伺います。また来年度の影響額はどうか伺います。

- ②昨年の4月より限度額が2倍まで拡大しましたが、隣町である当別町は今年度は5億、上士幌町は15億に達しているとの事ですが、本市においては今年度よりニシンを景品で贈っておりますが、更なる制度拡大の考えが無いかを伺います。
- ③制度拡大を考えた時に、一番懸念されるのが、事務作業の負荷がかかることや顧客の管理です。事務作業や顧客管理を一括で行ってくれる企業があります。そういった企業を有効活用し負荷を軽減、顧客データを元にサポーターの皆様にイベントなどのPRなど積極的に行ったほうが良いと思いますが、考えを伺います。

## 5. 合葬墓について

- ①昨年アンケートを行い、集計もほぼ終了かと思いますが、現時点での進捗状況を伺います。
- ②市民ニーズが高い一方で、関連している宗教法人や企業にとっては、経営にかなりのダメージを与えかねません、官民共存共栄出来るように、慎重な調整が必要に思えますが、考えを伺います。

## 6. 交流人口について

- ①現在インバウンドという言葉が飛び交っておりますが、観光客誘致に関しては何らかのアプローチが必要かと思いますが、現在の取組みを伺います。
- ②昨年12月にスカイツリーの近隣の葛飾で観光客が立ち寄る為の施設を建設しました。『まるごとにつぼん』という施設ですが、こちらは自治体の展示を行っているフロアも併設されており、現在20の自治体が参加しております。このような施設に進出するお考えはないか伺います。

---

12番 和田 川頁 義 議員

## 1. 憲法について

- ①立憲主義についての認識について。
- イ、立憲主義に反し、現状を認めるための改憲の動きが加速されているが立憲主義についてのお考えを伺います。
- ②地方自治の認識について。
- イ、沖縄に見られるように国と地方が対等であるとの状況に変化が見られるが地方自治のあるべき姿についてお考えを伺います。

## 2. 相互理解について

- ①市内在住外国人への支援について。
- イ、昨年9月現在で19ヶ国227人が在住する外国人の生活面での実態把握と言葉の壁の解消と交流などの支援策について伺います。

## 3. 環境対策について

- ①新港地域の企業に起因する悪臭の対策について。
- イ、苦情の有無、支援策は。

#### 4. 国勢調査について

- ①速報値の分析と認識について。
- ②人口減少をくい止め増加させる方策について。

#### 5. 観光について

- ①石狩独自の観光についての考え方について。

#### 6. 自転車道の整備について

- ①札幌市等に直結する自転車専用道路の整備について。

#### 7. TPPについて

- ①全容が見えてきたTPPの市内の農業、酪農への影響について。

#### 8. 子どもの健康について

- ①子どもの健康増進の取り組みについて。
- ②組立て体操への対応について。

---

2 番 阿 部 裕 美 子 議 員

#### 1. 避難訓練をペット同伴で行う事について

- ①避難訓練の際に、実際にペットを同伴し現実に即した訓練をする事の必要性について。

#### 2. 健康マイレージ制度について

- ①健康診断や体力づくり等のイベント参加にポイントを付与し、健康づくりに励みになるような制度の導入について。

#### 3. 軽度・中等度難聴児補聴器購入費用助成について

- ①事業内容について。
- ②予算枠を超えた場合の対応について。

#### 4. 子ども議会について

- ①子ども議会の継続について。
- ②子ども議会のサポーターとして、大学生にボランティアの募集をする事について。

#### 5. ひとり親家庭の支援について

- ①ひとり親家庭の支援が確実にできる様、必要とされる情報が一括して得られるような、支援ナビの作成について。